



umango

処理の保存先手順書  
ネットワークフォルダ

# ネットワークフォルダ

ネットワーク フォルダ コネクタを使用すると、Umango によって処理されたドキュメントをネットワーク フォルダにエクスポートできます。このコネクタを使用して、サブフォルダを含む構造化フォルダを作成したり、「マージ フィールド」または「ゾーン」から取得した情報を使用してファイルの名前を変更したりすることもできます。「ゾーン」と「テキストの結合」の詳細については、「ゾーン」と「マージ フィールド」の説明書を参照してください。エクスポート先としてネットワーク フォルダを設定するには、以下の手順に従ってください。

1. 処理の設定で、「保存先」タブをクリックしてください。



保存先のアクセスタブ

2. 「コネクタを追加」ボタンをクリックしてください。



「コネクタを追加」ボタン

3. 「ネットワーク フォルダ」を検索し、「追加」ボタンをクリックしてください。



「ネットワークフォルダ」の選択

4. ルートフォルダ ディレクトリを入力するか、[青いボタン] をクリックしてルート フォルダ ディレクトリを選択してください。
- ※サーバーが Active Directory の一部である場合は、ルート フォルダを認証されたユーザーのホーム ディレクトリに設定することもできます。

ルートフォルダの設定

5. 必要に応じて、サブフォルダのディレクトリを入力してください。サブフォルダの命名には「マージフィールド」と「ゾーン」を使用できます。

サブフォルダの設定

6. 「ドキュメント名」タブをクリックしてください。

「ドキュメント名」タブ

7. ドキュメント名を入力してください。ドキュメント名には「マージフィールド」と「ゾーン」を使用できます。

設定 ファイルの種類のオプション

フォルダ ドキュメント名

ファイル名

<<見積書番号>>\_<<発行会社>>\_<<総見積り>>円.pdf

同名前のファイルがフォルダに既に存在する場合、どうすればよいですか?

- ☒ 増分番号を追加して、新しいファイルの名前を変更します。ファイル名(1).pdf
- ☐ 既存のファイルを新しいファイルに置き換えます
- ☐ ページを既存のファイルの末尾に追加します (pdf/tif ファイルのみ)。
- ☐ ページを既存のファイルの先頭に追加します (pdf/tif ファイルのみ)。
- ☐ ファイルのコピーに失敗しました (ドキュメントはバッチに残ります)

ドキュメント名の設定

8. 同じ名前のドキュメントがある場合に Umango が行うべき処理のオプションを選択してください。

設定 ファイルの種類のオプション

フォルダ ドキュメント名

ファイル名

<<見積書番号>>\_<<発行会社>>\_<<総見積り>>円.pdf

同名前のファイルがフォルダに既に存在する場合、どうすればよいですか?

- ☒ 増分番号を追加して、新しいファイルの名前を変更します。ファイル名(1).pdf
- ☐ 既存のファイルを新しいファイルに置き換えます
- ☐ ページを既存のファイルの末尾に追加します (pdf/tif ファイルのみ)。
- ☐ ページを既存のファイルの先頭に追加します (pdf/tif ファイルのみ)。
- ☐ ファイルのコピーに失敗しました (ドキュメントはバッチに残ります)

同じ名前のドキュメントがある場合の設定

9. 「ファイルの種類のオプション」タブをクリックしてください。

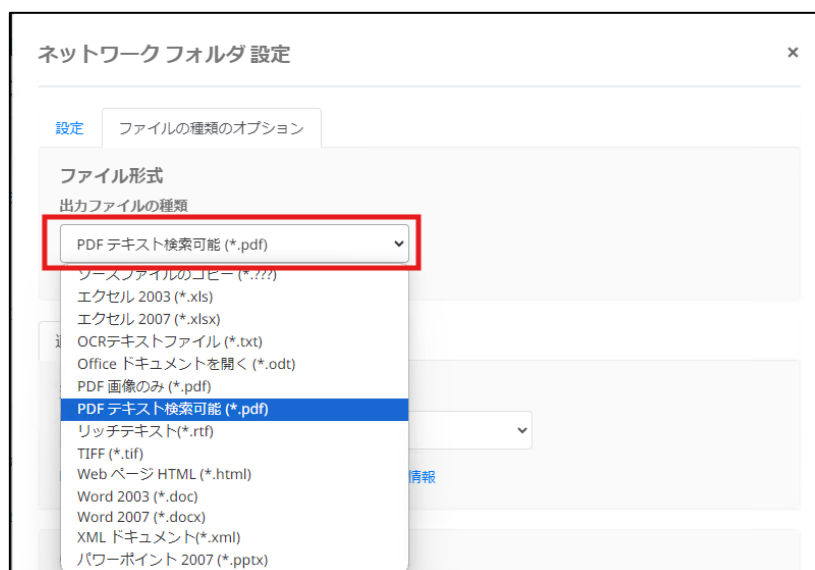
ネットワークフォルダ設定

設定 ファイルの種類のオプション

フォルダ ドキュメント名

「ファイルの種類のオプション」タブ

10. ドキュメントをエクスポートするファイルの種類を選択してください。



ファイルの種類の選択

11. ファイルの種類に応じて詳細設定を行ってください。ファイルの種類の詳細設定の詳細については、「ファイルの種類のオプション」の説明書を参照してください。



ファイルの種類の詳細設定

12. 「保存」ボタンをクリックしてください。



「保存」ボタン